

2009年度

科目名	同和教育			コード	52090
担当教員	金井 英樹			単位数	4
配当	教育3	講時	金曜日2限	単位数	4
開期	通年	講時	金曜日2限	単位数	4
授業テーマ	反差別と共生のための同和教育				
目的と概要	反差別と共生の視点から同和教育をとらえなおし、その普遍性を明らかにする。同和教育の遺産を継承しつつ、人権教育を構築するために、ともに学びたい。差別を自己との関わりで見つめ直す機会にしてほしい。				
成績評価法	基本的に前期末・後期末にそれぞれ課すレポートの成果によって評価する。 授業時のレポートや毎時提出のコミュニケーション・ペーパーも平常点として参考にする。				
テキスト	特に指定しない。適宜レジュメを配布する。				
参考書	中野陸夫他著『同和教育への招待』解放出版社。 その他に参考文献を授業で紹介する。				
履修に当たっての注意・助言	<学び>にあたって、真摯であってほしい。				
講義計画					
1、はじめに	授業の進め方、何を・どのように学ぶか、レポートについて、意識調査。				
2、人権って	人権とは何かを考える。				
3、憲法と人権Ⅰ	憲法とは何か、立憲主義について考える。				
4、憲法と人権Ⅱ	自由権・平等権・社会権・新しい人権等々。				
5、アイヌと近代日本	アイヌの近代史を探る。				
6、沖縄と近代日本	沖縄の近代史から学ぶ。				
7、古代日本と差別	古代国家の差別を考える。				
8、中世日本と差別	中世社会の差別と芸能。				
9、近世日本と差別	身分制社会の実相を見る。				
10、近代と部落問題Ⅰ	近代の問題としての部落差別。				
11、近代と部落問題Ⅱ	改善・融和・水平社運動の諸相。				
12、病者と隔離	ハンセン病問題等。				
13、性差別	男女共同参画社会。				
14、近代日本と戦争	近代日本のアジア侵略を考える。				
15、世界人権宣言	世界人権宣言の歴史的意義と現状。				
16、戦争と教育	教育が戦争に果たした役割とは				
17、戦後の部落問題	戦後史の中の部落問題。				
18、部落問題の現在	部落問題のいまを探る。				
19、前近代の差別観念	貴賤観とけがれ観を解析する。				
20、近代の差別観念	優劣観・優生思想・健康観・排外思想。				
21、反差別の運動Ⅰ	差別と闘った人たちの動き。				
22、反差別の運動Ⅱ	差別と文学、音楽との関わり。				
23、アジアと日本	東アジア圏の中で日本を見る。				
24、在日コリアン史	在日コリアンの歴史と現状。				
25、「新渡日」の人々	「ニューカマー」の現状。				
26、日本移民史	近代日本の移民政策を検証する。				
27、夜間中学の思想	識字運動と夜間中学の現状。				
28、国際人権諸条約	人権の国際的規準を学ぶ。				
29、多文化共生教育	多文化共生社会への展望。				
30、まとめ	差別をなくす教育実践の創造。				